

第 1 2 回 薩摩川内市行政改革推進委員会 議事録

1 開催日時 平成 2 4 年 4 月 2 3 日 (月) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 4 5

2 開催場所 薩摩川内市本庁 5 階 5 0 1 会議室

3 出席者

(1) 委員 米盛会長、谷崎副会長、笹野委員、山田島 (稔) 委員、石原委員、草留委員、山田島 (聡) 委員、齋藤委員、西村委員、水流委員 (1 0 名出席)

(2) 事務局 企画政策部長、行政改革推進課課長、同課長代理、同課行政改革グループ員 2 名

(3) 傍聴者 なし

4 会次第

- (1) 【報告】 事務事業外部評価に対する見直し状況等について
- (2) 【協議】 平成 2 4 年度の行政改革推進委員会の運営について
- (3) 【協議】 事務事業外部評価対象事業の選定方法 (案) について
- (4) 【その他】 薩摩川内市組織機構再編方針 (案) について

5 資料 別添のとおり

6 概要

平成 2 3 年度に行った事務事業外部評価に対する見直し状況及び平成 2 4 年度当初予算への反映状況の報告があった。平成 2 4 年度も引き続き外部評価を実施するため、当年度の委員会の開催日程及び運営方針等について協議を行った。

7 会議録

(1) 【報告】 事務事業外部評価に対する見直し状況等について

会 長	事務局から説明をお願いしたい。
事 務 局	(資料説明)
会 長	質問・御意見があればどうぞ。
委 員	(特になし。)
事 務 局	「廃止」の方向性をいただいたものの、直ちに廃止することができない等の理由で、事業内容の見直しのうえ継続しているもの、「移管」の方向性をいただいたものの、関係課や外部団体との協議に時間を要するため、現在のところ「現状維持」となっているものもある。 委員会から外部評価をいただいた内容については、主管課及び事務局では、十分重く受け止めている。 また、昨年度は、初めての外部評価だったということで、主管課の委員会に対する説明等が十分でなかった事務事業もあったのではと認識している。
会 長	われわれの見直しの方向性と行政側の最終的な見直し結果のくい違いは何なのか。今後の課題だと思う。われわれの指摘の仕方や内容について、精査が必要な部分もあるのではと思った。 昨年度の 6 2 事務事業の総事業費は、全予算の 2 % 程度だった。この外部評価の効果も考えなければならない。 今年度の当初予算は前年度比マイナス 2 % 程度である。財政は今

	後、厳しくなる一方ではないのかと思う。この事務事業外部評価を含め、これに対応する必要がある。
--	--

(2) 【協議】平成24年度の行政改革推進委員会の運営について

(3) 【協議】事務事業外部評価対象事業の選定方法(案)について

会 長	事務局から説明をお願いしたい。
事 務 局	(資料説明)
委 員	見直し状況等を拝見すると、このようなものかと納得するか、単なるパフォーマンスで外部評価をしているのかと思うしかない。昨年度の外部評価と主管課の見直し結果が大きく食い違うものについては、再度外部評価の対象とするくらいのことがあってもいいのではないか。 数が多過ぎて、数をこなすだけになっているのかもしれない。また、班分けすることによって委員会が統一した評価方法及び方針をもって外部評価の結論が出せているのかなと感じた部分がある。
委 員	私もその意見に賛成する。併せて事業費の多寡にかかわらず一の外部評価に要する労力は同じである点がある。事業費が小さい事務事業は、市役所内部の自浄作用に期待し、事業費の大きな事務事業を外部評価させてもらうような形はとれないか。
事 務 局	全体の事務事業数が700程度ある。これから事務事業の対象としないものを除くと100程度が残る予定。さらにこれから実際に外部評価をしていただく事務事業を選定したい。 外部評価実施事業数についてはこの場で協議していただきたい。
委 員	前提として外部評価を実施しない事務事業については、市役所内部での内部評価及び見直し等を期待できるのか。
事 務 局	この外部評価の制度があるとおり主管課による内部評価だけをもって大きな予算削減を図ることは、限界があると考えている。
委 員	私は、昨年度の外部評価により5,500万円の予算削減が図られたことは評価できるし、成果があったと思う。少しのことでも取り組んでいけば大きな結果につながるので、このような姿勢を行政側と共有していきたい。
事 務 局	事業費の削減はもとより、事務改善等も含めて今後とも外部評価をしていただければと考えている。また、市の内部評価にも活かしていきたい。
会 長	市の内部では、予算を削減するような仕組みはないのか。
事 務 局	各主管課は、必要なものを予算化するため予算案を作り、部単位で評価・調整を行う。財政課の査定及び市長査定を通して、最終的に予算が作成される。どの段階においても、その事務事業の必要性や手法の適切性という評価はある。
会 長	昨年度外部評価した事務事業は、一律今年度外部評価の対象外とする必要はないと考える。
委 員	(異議なし)
会 長	外部評価の1事務事業の評価時間は？
事 務 局	昨年度は、二班体制で説明5分、質疑20分、まとめ5分の合計30分で外部評価を行った。今年度は、1事務事業を40分または45分で予定しているところ。一班体制の場合、1委員会4事務事業を7回開催すれば28事務事業、二班体制の場合、56事務事業となる。
委 員	昨年度の外部評価において、委員会の見直しの方向性と市の見直し状況が大きく異なっている原因は、行政側の事務事業の説明不足と委員の理解不足だと思う。十分な時間を取って、所管課長から、市民ニーズの有無、行政側のねらい、その経過の説明をきちんと受ける形が望ましい。
委 員	委員会では、市民の目線で外部評価を行っている。この外部評価

	<p>が結局、市の内部評価に取り込まれている形になっていると思う。委員会の「廃止」の評価という方向性に対して、どのようにしたら行政側に反映されていくのだろうか。委員会の「廃止」の評価という方向性に対しては、必ず市の主管課は、廃止しなければならないというような仕組みはできないのか。外部評価の運用の仕組みも検討が必要なのではと思う。</p> <p>班体制は、市民目線で評価できる体制づくりという観点で検討したらよいと思う。</p>
委員	今年度は、公開するのか。公開しないのか。
事務局	<p>昨年度は、初年度ということで、評価作業は非公開だった経緯がある。</p> <p>行政側の説明の体制をきちんと整えるということ、市の審議会は公開が原則であることから、可能であれば、今年度から公開する方向で事務局は考えている。</p>
委員	<p>委員会を公開するのであれば、特に資料の早期送付を徹底してほしい。事前に質問や問い合わせができて、委員会当日に見直しの方向性を決定できるだけの資料がすべて揃っていることが必須条件になる。</p> <p>事務局及び主管課は、対応できるのか。</p>
事務局	事務局としては、昨年度より改善する。主管課についても同様である。
委員	次回、外部評価実施事務事業が決定した場合、速やかに外部評価に入ることができるのか。
事務局	<p>回次の委員会と第14回の委員会の間だけは、少し時間をいただくかもしれないが、基本的にきちんと対応できる。</p> <p>出来るだけ早急に次回を開催する形でまずは進めていきたい。</p>
委員	昨年度外部評価した事務事業については、これで終了なのか。
事務局	事務局から主管課へは、答申結果を通知している。反映結果は、現状においては、資料のとおりである。委員会の回数に制約があるが、昨年度外部評価した事務事業であっても、必要なものは再度、外部評価実施の対象事務事業としようという議論をいただいたので、主管課の受け止め方もより重くなるのではと思う。フォローアップについては、今後、検討したい。
委員	<p>ホームページでこの委員会の様子を一般の若い市民が閲覧できて、コメントできるような仕組みはできないのか。</p> <p>市民の参画ができるし、われわれも貴重な意見をいただくことができる。</p>
委員	<p>われわれ委員は、名前や経歴を公表し、市長から委嘱を受ける形で、外部評価を行っている。匿名の自由な意見募集は、危険が伴い時期尚早なのでは思う。</p> <p>また、一班体制の方が見直しの方向性の決定に対する委員会の考え方に偏りがなくなり、よいのかなと思う。</p> <p>公開についても、公開をしたが故に踏み込んだ議論ができなくなることを懸念して、やはり時期尚早だと思う。</p>
会長	<p>一般の意見を聞くのはいいのだが、匿名で自由なことが言えるというのはどうかと思う。</p> <p>このスケジュールをみるとすでに過密になっている印象を受ける。たとえば、今回は5月に開催できないのか。</p>
事務局	可能ですので対応したいと思う。
委員	選定事業の中に平成25年度以降の実施計画の事務事業を含むことはできないか。
事務局	まだ着手していないことから、外部評価の対象にするのは難しいと思う。紹介することは可能。

委 員	主管課からの事務事業の説明時、財源内訳・裏付け等を明確に説明してほしい。
事 務 局	対応できる。 また、事務事業の件数は、昨年度の件数にこだわることなく、班体制も含め、委員会で決定していただければと考えている。
委 員	私たち委員会の思いを伝えるためにも余裕をもって、議論することが必要だと思う。委員と関係がある事務事業の評価時は、議論に参加しない等の対応をとれば問題ないと思う。
会 長	一班体制に反対の方は意見をお願いします。
委 員	一班体制で件数を絞ると十分な議論ができてその結果、重みが出るとか、二班体制だとやはり多い件数を評価できるとか、どちらの方が実際の効果が図られるのかは不明であるが、どちらかという二班体制の方がいいのかなと思う。
委 員	外部評価の対象事業全てを見たいというのが正直なところ。しかし、時間に制約があるなら、全委員でじっくりと見る形も良いのかなと思う。ただし、予備を用意しておく方法もあるのかなと思う。
会 長	委員会の回数自体は増やせないのか？
事 務 局	若干の回数を増やすことは対応したい。ただし、今年度の外部評価結果を翌年度当初予算に反映させていただくため、9月末までの答申をお願いしたい。
委 員	回数を増やしていただいてもかまわない。ただし、私自身欠席が多くなる可能性がある。
会 長	昨年度の外部評価の見直しの方向性を、市の主管課に反映してもらえなかったから、現在の手法の議論になっている。このことは、事務局に認識してほしい。
委 員	昨年度の二班体制については、それぞれ外部評価しなかった事務事業に対する思いをお互い持っていると思う。なので、今年度は一班体制で行ってはどうかと思う。新しく外部評価を行う事務事業に、昨年度外部評価を行った事務事業をいくつか加える形でよいと思う。
委 員	一班体制に賛成します。
委 員	(異議なし)
会 長	今回の外部評価の見直し状況等により5,500万円の予算削除が図られたとあるが、他の要因は含まれないのか。
事 務 局	外部評価実施の対象となった62事務事業の平成23年度の当初予算額と平成24年度当初予算額を単純に比較したもので、行政側の判断・努力等による増減の双方の内容も含まれている。
会 長	公開についてのご意見は
事 務 局	今回の外部評価の状況等及びこれまでの委員会の議事録及び資料等は、ホームページで公表している。公開の場で、議論をするかというところを協議いただきたい。
委 員	公開とは直接関係ないかもしれないが、各事務事業の説明及び質疑のあとのまとめの際、主管課はこれまでとおおり退席するのか。
事 務 局	退席の予定である。
委 員	もし、公開の場合は、各事務事業のまとめの際にも一般の方がいて、どの委員がどういう発言をしたかがわかるということでのよいか。
事 務 局	議論を公開するということであれば、そういうことになる。現在のところ、ホームページでは、各委員の個人名は記載せず、「委員」とか「事務局」という形で議事録を公開している。 本日の外部評価に対する見直しの状況等についても市議会議員への報告と同時にホームページによる公表を予定している。
委 員	近隣市町村は？

事務局	霧島市は公開しているが、実際の一般傍聴の有無は不明である。
委員	ホームページ等での公表は当然していかなければならない。
委員	過去に国が主催する非公開のはずの審議会に出席したが、発言した個人を特定できる形で議事録が公開され、苦しい立場に立たされたことがある。民主主義の世の中では、公開が原則であるが、その公開の方法は様々だと思う。（非公開の場で）真剣に議論をし、その結果を公表する形でよいのかなと思う。
委員	従来とおりでいいのかなと思う。
委員	（異議なし）

（４）【その他】薩摩川内市組織機構再編方針（案）について

会長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	（資料説明）
委員	（特になし）